

「スーパー鯉むぎ」で

西河原野鯉会
武松将勝

バラケを演出

にエサ作りのプロセスを楽しんでいます。また、エサを作ってダンゴに握り、それを打ってただ待つだけでなく、鯉の回遊する時間帯、風向き、水の状態などを観察し、鯉を釣るまでのプロセスを考えることで、よりいっそう鯉釣りが楽しくなるのです。

植物性素材の「鯉パワー」がメインエサ

いろんなエサを試してみた結果、吸い込みダンゴ作りは「鯉パワー」をメインにしています。「ご存知のように「鯉パワー」は大型の鯉を寄せることを主眼に開発された植物性素材が中心のエサです。ジャミヤエサ取りにも強く、長時間アタリを待つことができます。「鯉パワー」は多くの鯉釣り師が信頼を寄せる河川、湖沼など、どの釣り場にも対応できるパーフェクトと言って良い吸い込みエサです。私は「鯉パワー」を基本エサとして使用し、それにバラケ促進として「スーパー鯉むぎ」「荒びさなぎ」を使ってい



「スーパー鯉むぎ」でダンゴをバラケさせて釣った高滝湖の80cm

私の鯉釣りは主に吸い込み仕掛けで楽しんでいきます。そこで私の吸い込みダンゴ作りを紹介したいと思います。私の場合、釣り場や季節などの条件に合わせて配合エサを選びますが、特に注意することはエサがバラケやすいか、粘りはどうかということ。エサを早くバラケさせることによって鯉を早く寄せることができますし、釣果もアップします。私は常にバラケを重視することを念頭

ます。

小魚類の寄りも少なく、アタリがない時には「巨鯉」「タニシ吸い込み」など、動物性素材を多く含んだ匂いのある配合エサを使う時もあります。どのエサも単品で使っても釣れますが、各人がブレンドする目的を明確に持つことが大切です。注意点としては狙いもなく、適当に色々混ぜることで、エサの特徴、利点を損わないようにすることです。

「スーパー鯉むぎ」でバラケさせる

吸い込み釣りで鯉を釣る時、最も重要なことはダンゴをいかに早くバラケさせる。鯉を寄せることができるかということです。どんな配合エサも水を多く入れなければすぐにバラケますが、握りにくく、ダンゴとしてまとまらないので投げた時に空中分解してしまいます。

水を多く入れ練り過ぎたダンゴでは、何時間経ってもバラケないので、鯉を寄せることができます。解けない丸いダンゴは、不自然に鯉に警戒心を与えてし

まい良い釣果が得られないでしょう。

ダンゴを握る時の水の分量、練り加減でバラケはある程度まで調整できますが、私の場合、バラケさせるため、水底にエサを残して鯉を寄せるために「スーパー鯉むぎ」を使います。

「スーパー鯉むぎ」は粒麦・圧ベン炒り麦・麦ベレットを特殊加工したエサです。荒い粒子でジャミにも強く、比重があり、沈下して底に残り、炒った麦の香りで鯉を寄せる特効エサです。「スーパー鯉むぎ」は単品ではまとまりませんが、素ネリでは使用しません。どちらかと言えば細かい粒子の「鯉パワー」に荒い粒子の「スーパー鯉むぎ」を加えることによって、更にバラケ性が向上し、どのフィールドでも釣果を得ることができ

るので。 「スーパー鯉むぎ」の使い方として「スーパー鯉むぎ」に水分を含ませず、他の配合エサと混ぜ、むぎでダンゴをバラケさせ、浮いたむぎで鯉を寄せる場合と、予め水分を含ませた「スーパー鯉むぎ」を他の配合エサと混ぜ、水分を含んだむ

ぎを長時間底に残して大物を狙う場合があります。

湖沼など水の流れがないポイントには、浮いたむぎで鯉を寄せるのが有効です。流れが強い川ではむぎが浮いて流されてしまったため、むぎに水分を含ませ比重を重くした方が良いでしょう。

私の「スーパー鯉むぎ」を入れた吸い込みダンゴのバラケ時間はおよそ15分位です。バラケのタイミングは「スーパー鯉むぎ」の分量で調整するということより、水量で調整します。水分をエサ全体に染みこませ練りこむと、ダンゴは握りやすいがバラケにくく、水分を少な目にしてエサをパサパサ状にすると、ダンゴは握りにくいがバラケやすいのです。場合いに合わせて上手くダンゴがバラケるように調整して、巨鯉をゲットしましょう。



「鯉パワー」がメインのダンゴの作り方

「鯉パワー」3、「スーパー鯉むぎ」1の割合を容器に入れ、軽くかき混ぜる。それに水を1の割合で加えてかき混ぜる。水が均等に染み渡ったら「タンゴ」を握る。

*流れのある川の場合は「スーパー鯉むぎ」が浮いて流されないように、「スーパー鯉むぎ」に水を吸わせて置いたもので「タンゴ」を作る。



吊りがねの形で中が空洞のダンゴにウニ通して「手づくり芋」を刺した2本バリを通す
 ダンゴの穴の中に「スーパー鯉むぎ」を入れる
 ダンゴの底にネリエサでフタをして形を整えて完成
 *流れのある川の場合
 「スーパー鯉むぎ」に水を入れる
 しばらく放置して水分を充分吸わせたもの(水1/2の割合)を使用する

「鯉パワー」と「スーパー鯉むぎ」を用意する
 「鯉パワー」1/2袋の分量を容器に入れる
 「スーパー鯉むぎ」1/4袋の分量を容器に入れる
 それに水1/4の分量を加え、容器を振ってかき混ぜる
 (全体の割合は「鯉パワー」、「スーパー鯉むぎ」、水の比率が3:1:1)
 ダンゴを握ったら親指で穴を開け、吊りがねの形にする

「手づくり芋」の付け方



「手づくり芋」を1cm幅の長さに切ります
 普通1cm角の四角形に切りますが、私の場合、三角形の形に切ります
 三角形に切った「手づくり芋」を尖った方からハリに刺します
 ハリ先と芋が離れるようにして2本バリに刺して完成

鯉を釣るためには、アタリの少ない時、いかに鯉を寄せるか、寄った鯉をいかにハリ掛かりさせるか、ということが重要です。鯉を早く寄せるにはバラケが重要と先に述べましたが、寄った鯉を確率良くハリ掛かりさせるには、ハリ先は常に鋭さを保たなければいけません。ハリ先が甘くなった時は交換するか、ヤスリで研いで置かなければなりません。

私は自分で蒸かしたイモや乾燥イモを使っていましたが、手軽で便利な「手づくり芋」が発売されてからは「手づくり芋」を使うようになりました。「くわせコーン」も使いますが、「粘りがありハリ残りの良い」「手づくり芋」は長時間アタリが待てるので最高です。
 ハリの種類、大きさによっても違います。くわせエサのハリは付く方によっても釣果が左右されます。「手づくり芋」の付け方を少し変えるだけで、効率良くハリ掛かりさせることができます。鯉は底にあるエサを吸い込んだり吐いたりしながら食べますが、その時にハリが口に掛かるのです。
 普通は「手づくり芋」を1cm角の四角形に切りますが、私の場合、三角形の形に切ります。そして三角形に切った「手づくり芋」を尖った方からハリに刺します。

ハリ先と刺した芋の距離があった方が、口に掛かる率が高いのです。ちょっとしたくわせエサの付け方を工夫するだけでも釣果が変わりますので、ぜひ試してみると良いでしょう。

「荒びきさなぎ」の匂いとバラケで鯉を釣る

私は山上海やダム湖では、「イモ吸い込み」をよく使います。
 山上海やダム湖は、鯉がエサ慣れしていないので、アタリが出るまで時間が掛かります。ジャミの攻撃をかわし、長時間大物待つ時に、植物性素材が中心の「イモ吸い込み」が抜群の効果を発揮するのです。「イモ吸い込み」は大粒のイモチップが多く入っているので、他の微粒子の配合エサに比べ、バラケ性が大変良いのです。また、大粒のイモチップが長く底に残るので、じっくり大物待つことができます。

そして、エサ慣れしていない鯉を早く寄せるのに役立つのが、「荒びきさなぎ」です。まず、「荒びきさなぎ」の強烈な集魚効果で、ウグイ、オイカワなどの小

山上海やダム湖では「イモ吸い込み」、「スーパー鯉むぎ」、「荒びきさなぎ」でダンゴを作る



高滝湖レポート



高滝湖の川の吐き出しやヨシが生えた浅瀬の草むらなどは、鯉が回遊してくる絶好のポイント

物を寄せて、鯉の食い気を誘発します。「荒びきさなぎ」も単品ではまともでないので、素ネリでは使わず、「イモ吸い込み」などの配合エサと混ぜて使います。私が「荒びきさなぎ」を使う時、特に注意する点は、最初から「荒びきさなぎ」を入れてベースエサを作らないということです。配合エサに水を入れてかき混ぜ水分が全体に染み渡ったら、最後に水分を含ませない「荒びきさなぎ」を入れることによって、寄せ効果だけでなくバラケ効果が確実にアップするのです。私の「荒びきさなぎ」を使ったダンゴの割合は、「イモ吸い込み」、「スーパー鯉むぎ」、「荒びきさなぎ」、水が3:1:1:2の比率です。

山上湖やダム湖での釣り方としてはエサ慣れしていない鯉を寄せるため、最初に必ず寄せエサを打ちます。警戒心が強い鯉を安心させるため、仕掛けを投入したらアタリが出るまでエサの交換時間を長くします。鯉が釣れ始めたらダンゴは小さく、エサの交換時間を短くしてできるだけ静かに釣るということです。

「スーパー鯉むぎ」を使ったダンゴでの釣果



河口湖の93cm。(5月22~23日)「イモ吸い込み」をメインに「スーパー鯉むぎ」を使ったダンゴで、93cmの他に83、79cmなど数本を釣り上げた北浦、水原の95cm(昨年の秋)「鯉パワー」をメインに「スーパー鯉むぎ」を使ったダンゴでの釣果

常陸利根川の83、80cm。(5月の連休)「鯉パワー」をメインに匂いのある「荒びきさなぎ」を使ったダンゴでの釣果
鱒川の95cm(6月13日)「鯉パワー」をメインに「スーパー鯉むぎ」を使ったダンゴでの釣果

5月29~30日、マルキュー鯉モニターの武松将勝さんに、千葉原にある高滝湖というダム湖で実釣をお願いしました。高滝湖は房総半島で最大の川である養老川を塞ぎ止め、平成2年に完成された新しいダム湖です。釣れる鯉は60~70cmの型が多いのですが、数釣りを楽しめるということです。

ダム湖は河川や湖沼と違って難しいと言われます。その理由としてダム湖は地形的な制約が多く加えて水位、水温の変動で状況が目まぐるしく変化するからです。ダム湖でも通い慣れた場所、ポイントならばある程度は予想がつくのですが、初めての高滝湖では一回だけでは釣れるかどうか?不安だと武松さんは言います。土曜日の早朝、武松さんは高滝湖の川の流れ込み、ワンドなどのポイントを見回りました。

高滝湖は亀山ダムなどと同じようにトラックバス釣りが盛んなので、武松さんはポイント選びもただ鯉を釣るだけでなく、バスマンとトラブルのないようにできるだけ静かな場所を探していました。

ダム湖でも特に乗っ込みの春先は川の吐き出しやヨシが生えた浅瀬の草むらなどが絶好のポイントです。武松さんが実際に見て回った場所でも鯉を目にすることができたそうです。しかし、川幅の狭い上流の浅瀬にもバスポートが入ってくるので、武松さんは敢えてダムサイトに近いバスポート侵入禁止のポイントを選びました。

武松さんが選んだ場所は、流木などが溜った比較的浅いポイントです。そのポイントは川筋が対岸の方にあるので、果たして鯉が回遊してくるかどうかわかりません。しかし、小魚のハネも見られたので、武松さんは必ずここで釣れると信じて竿を出すことにしました。

「荒びきさなぎ」の匂いで寄せる

土曜日は快晴で、アウトドアやスポーツを楽しむのには良い気候なのですが、鯉釣りにはあまり良い条件とは言えません。潮回りも大潮ではなく長潮で風もななく、梅雨入り前なのに真夏のような暑さです。



比較的浅く、流木などが溜ったポイント狙いが的中し鯉がヒット！
同会の福田君のサポートでダム湖の鯉をゲット！



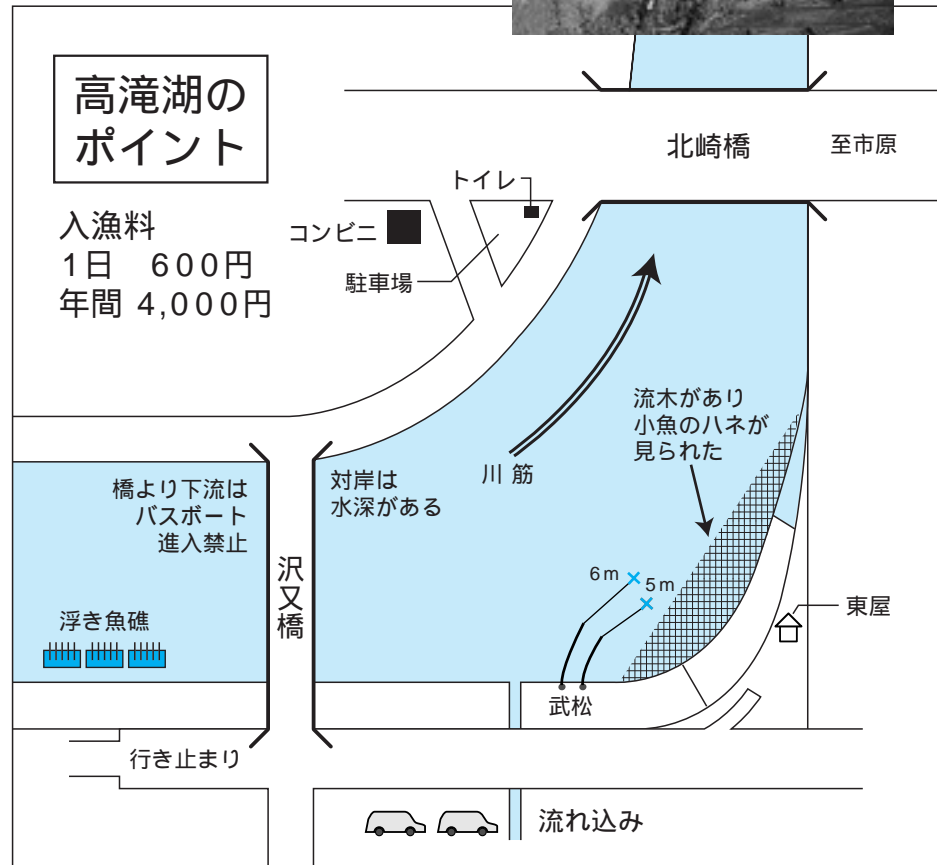
山上湖やダム湖では、短い竿が使いやすい。磯の投げ竿4.2mとクリック音が大きくなるように改造したスピニングリールのタックルにダンゴをセットして...



初挑戦の高滝湖で80cmを頭に77、76、60cmの4本の釣果

高滝湖のポイント

入漁料
1日 600円
年間 4,000円



山上湖やダム湖は竿が2本までの所が多い。磯の投げ竿4.2m2本を岸から約10mの水深5mラインと6mラインにセットして...

バラケ効果で80cmの大物が...

日曜日は天気予報では雨らしいのでベタナギより期待が持てます。しかし予報が外れて晴天になりました。厳しい暑さにも関わらず最初のアタリで60cmの鯉が釣れました。釣れた場所は流木近くの水深5mポイントで武松さんの狙いどおりでした。前日、丸一日アタリがなかったのですが、エサを打ち続けた効果が出たようです。「やはりエサ慣れしていない鯉はじっくり寄せないとダメ」と武松さんは言いました。

武松さんはアタリが出始めたので、エ

まず、武松さんは竿を出す前に鯉を寄せるため、匂いのある「荒びきさこなぎ」を加えたタンゴを数発打ちました。

武松さんは一番の狙い目だと言った流木などが溜ったポイントに磯の投げ竿4.2m2本を岸から約10mの水深5mラインと6mラインにセットしました。仕掛けはミチイト6号に自作オモリ15号、ハリはチヌ8号の山上湖用の細針掛けです。

武松さんは「鯉パワー」をメインに、バラケ効果のある「スーパー鯉むぎ」を配合した吸い込みダンゴで攻めたのですが、湖はいたって静かで、小魚の活性や鯉のハネ、モジリもなくアタリがありません。朝まずめに期待したのですが、やはり初めての場所では、鯉がエサ慣れしていないのか？午前中アタリが全然ありませんでした。

武松さんはアタリがあるとすれば満潮が午後1時過ぎなので、午後3時から夕方にかけてだろうと予想しました。しかし、残念ながらその日は結局、ナギ倒れか？1匹も釣れませんでした。

サ交換をこまめに、長くても45分以内にエサを交換しました。このポイントは流れがないので、水分を含ませない「スーパー鯉むぎ」で早くバラケさせ、アタリが出たらタンゴの大きさを小さくして早く食わせるように工夫しました。

その結果、お昼まで80cmを頭に77、60cmと4本の釣果を得ることができ、まさに晴天の霹靂でした。

夕方まで粘ればさらに釣果を増やすことができたでしょうが、猛暑で滝のように流れる汗に釣り人がギブアップ。

帰途に着く前に武松さんに釣れた理由を聞くと、「自分の目でポイントを選び、自分の信じたエサで狙うこと。鯉が釣れた一番の理由はポイント選びにある」と言いました。

profile

武松 将勝

(たけまつまさかつ)

神奈川県出身、伊勢原市在住、47歳。鯉釣り歴32年、西河原野鯉会所属。マルキューモニター。ホームグラウンドは、北浦、霞ヶ浦などの水郷一帯と芦ノ湖、富士五湖など、山上湖の鯉釣りを得意とする。自分で鯉釣りを楽しむだけでなく、キャンプカーで家族と共に北海道など、全国の釣り場を釣り歩く。